

技法セミナー

■実践！グラフィックデザイナー・ポスターが出来るまでー

11月3日 13:00～15:00

講師＝榊原幸弘（有限会社サイズ 代表取締役）

場所＝当館実技室

参加者数＝22名

「みなさんはポスターが出来上がるまでの工程を思い浮かべることが出来ますか。」この疑問が、今回の技法セミナー開催の発端である。現在のポスターデザインが、コンピューターで加工されていることは御存知のとおりである。さっとコンピューターを睨みながら、試行錯誤している時間がほとんどだろうと私は想像していた。

しかし、実際はデザイン作業自体の工程よりも、それ以前の工程に多く時間をかけていることがわかり驚いた。デザイナーにおいてのデザイン実作業とは、テイストを整える最後の仕上げ作業だったのである。

まず講師のデザイナー・榊原幸弘氏が、これまで手がけてきた作品の紹介を行った。それはポスターやCM映像などのヴィジュアルデザインから、お茶の缶や犬小屋などのクラフトデザインまで多岐にわたり、デザインを考えていく上での示唆に富んでいた。次に、デザイン制作のポイントについて講義があった。そして、その学習をもとに架空のポスター作りを行った。出来上がったデザインの工程をなぞっていくのとは違い、講義で学んだことを実践的に取り入れていくにはまだまだ時間がかかると感じた。

参加者は、広告代理店に勤務されている方や学校の先生、来春高校を卒業される女子生徒まで、幅広い年齢、職業の方が集まった。参加者のそれぞれが、「デザインについて総合的にやっていきたいが方向性がつかめない」「チラシに載せる写真がどうしても羅列のようになってしまう」といった様々な悩み事を抱えていた。ポスターが出来上がるまでの工程を知る中に、そうした疑問や悩みを解決する糸口が見つかったと思う。



実技講座

■「大本山相国寺・金閣・銀閣秘宝展」関連普及事業 水墨画を描こう～伊藤若冲・水墨画の世界～

講師＝王伝峰（中国画家）

場所＝当館実技室・展示室

参加者数＝75名

平成14年6月8日・9日・15日・16日の4日間、「大本山相国寺・金閣・銀閣秘宝展」の開催にあわせ、水墨画の技法を学ぶ実技講座を開催した。富士宮市在住の中国画家、王伝峰氏の指導のもと、相国寺にゆかりの深い伊藤若冲の作品を参考にして、まず道具の扱い方、描く前の心構え、基本的な画法を学んでいただき、若冲の作品模写を行った後、自分の作品を制作するまでを行った。

まず、講師がお手本を描いてみせる。参加者は皆、息を飲んでその一筆一筆を見つめる。白い紙に墨の濃淡を駆使して描かれていく様は素晴らしくとても迫力があつた。描き終わると見事な演奏を聴き終わった後のような感動が湧き、自然と拍手が起こった。次は参加者の番である。当然のことであるが、見るのとするのは大違いである。最初は、思うように描けない方がほとんどであったが、講師が丹念に添削して周り、参加者も挫けずに何枚も何枚も描いていくうちにどんどん上達していった。

観覧料は一度お支払いいただいたが、胸に着けた名札をパスポート代わりに、開催中は何度展示室へ足を運んでもよいことにした。講師と共に2回、個々では数えきれないくらい展示室に足を運んでいただいた。そのたびに何かのヒントを得て、情熱的に制作に取り組まれている参加者の姿が印象的であった。描くことで鑑賞を深めていただきたいという美術館の想いは達成されたように思う。

